



2026 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 A p p B a n k 株 式 会 社

代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 白 石 充 三
(コード番号：6177 東証グロース)

問 合 せ 先 管 理 部 長 渡 邊 泰 弘
(TEL. 03-6302-0561)

奈良クラブ主催試合における「奈良ジビエ」体験イベント施策の
実施に関するお知らせ

当社は、当社が実施事業者として選定されております「農林水産省 令和7年度 鳥獣被害防止総合対策交付金（全国ジビエプロモーション事業）のうちジビエ需要拡大・普及推進事業」の一環として、美容・ボディメイク分野でのジビエの認知・普及を目的に、プロサッカークラブ「奈良クラブ」と連携し、2026 年 2 月 14 日（土）に実施される同クラブのホームゲーム会場にて「奈良ジビエ体験イベント」を実施いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 本件概要と目的

当社は、2024 年 3 月の第 12 回定時株主総会及びその後に開催した臨時取締役会にて承認された新経営体制の元、資本業務提携先との協業の推進を軸に、業績拡大と株主価値の向上を目指しております。現在は、「IP と AX で、まちの魅力を世界へ」をビジョンに掲げ、IP コンテンツと AI ソリューションを活用した「IP×AX」戦略を軸に、地域の持つ魅力的なアセットを活用した様々な事業開発を進めております。

本施策では、2026 年 2 月 14 日（土）に実施される奈良クラブが主催するホームゲーム会場（ロートフィールド奈良）にて「奈良ジビエ」体験イベントを実施いたします。

本イベントでは、美容・ボディメイクとジビエの相性の良さを“食べて学ぶ”ためのクイズを行い、参加者に猪汁（しし汁）を数量限定で無料提供いたします。

一連の施策の内容は、後日、映像及び記事として、ジビエ情報ポータルサイト「ジビエト」(<https://gibierto.jp/>)にて情報発信を行います。

■「奈良ジビエ」体験イベント実施概要

実施日：2026年2月14日（土）

対象試合：奈良クラブ主催試合（対戦：FC今治戦）

会場：ロートフィールド奈良（奈良市法蓮佐保山4丁目5-1）

実施時間（予定）：開場 10:30／開始 11:00／終了 14:00

企画内容

① 美容・ボディメイク×クイズハンティング（スタンプラリー形式）

会場内の複数箇所にクイズを掲出し、来場者が“探して解く”スタンプラリー形式でのクイズイベントを行います。美容／ボディメイク（栄養管理含む）、ジビエの基礎知識、地産地消等をテーマにしております。

② 猪汁（しし汁）の無料提供（数量限定）

クイズの参加者に対して、参加賞として、猪汁（しし汁）を無料提供します。なくなり次第終了となります。

③ ミニトークショー

ナレーションやイベント MC、e スポーツキャスターとして活躍するコーリー（郡正夫）氏と、奈良県ご当地アイドル「Cute Robin（キュートロビン）」が登壇し、クイズの答え合わせを交えながら、ジビエの魅力（低脂質・高たんぱく等）を分かりやすく紹介するミニトークショーを実施いたします。

クイズの正解数に応じ、オリジナルグッズや奈良ジビエ関連の商品が当選します。

④ 会場展示・映像放映（予定）

ジビエに関する展示（施策、関連物等）に加え、モニターで映像を放映予定です。

■鳥獣被害防止総合対策交付金（全国ジビエプロモーション事業）の概要

鳥獣による農林水産業等に係る被害については、鳥獣の生息分布域の拡大、農山漁村における過疎化や高齢化の進展による耕作放棄地の増加等に伴い、中山間地域等を中心に全国的に深刻化しています。また、鳥獣による農林水産業等に係る被害は、農林漁業者の経営意欲の低下等を通じて、耕作放棄地の増加等をもたらし、これが更なる被害を招く悪循環を生じさせています。

鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律（平成 19 年法律第 134 号。）第 10 条の 2 では、国は、捕獲等鳥獣の有効利用の促進を図るため、需要の開拓の取組等に対する支援等の措置を講ずるものとされています。

全国ジビエプロモーション事業は、この一環として、捕獲鳥獣を利用した食肉（ジビエ）、ペットフード又は皮革等の全国的な消費拡大を図るため、キャンペーン期間を設定した協賛飲食店等でのフェア開催やジビエ関連情報の発信等の取組を実施するものです。

■ジビエ需要拡大・普及推進事業の概要

全国ジビエプロモーション事業の中でも、特にメディアサイトや動画、関連イベントの開催等を通じて、社会に対して広く情報発信を行い、ジビエに関する認知と関心の拡大することで、全国的なジビエ等の消費拡大を図る取組です。

・事業実施期間：2025 年 7 月 4 日～2026 年 3 月 31 日

2. 今後の見通し

今後も、当社独自の展開及び資本業務提携先との協業等を通じて、多くの取り組みを進めていく方針です。なお、本件が当社の業績に与える影響は軽微であります。

以上